

**地域活性化に向けた
JAくらしの活動実践事例
【Vol.2】**

平成 29 年 10 月

宮城県農業協同組合中央会

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 仙台】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：仙台市宮城野区新田東 2 丁目 15-1
- 組合員数：33,642 人
(正組合員 12,397 人、准組合員 21,245 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 2,890.9 億円
 - ・貸出金残高 985.4 億円
 - ・長期共済保有高 8,851.8 億円
 - ・購買品供給高 39.6 億円
 - ・販売品販売高 40.9 億円



II . 主な取り組み概要

住宅ローン利用者を対象とした枝豆収穫体験祭

J A 仙台は、収穫体験を通じて J A と農業を身近に感じてもらうことを目的に、平成 26 年より住宅ローン利用者を対象とした枝豆収穫体験祭を開催している。

この祭は例年、職員が 5 月に播種した枝豆が収穫期を迎える 8 月に行っており、今年は茶豆特有の芳香を持ち甘みが強く、最高峰の食味といわれる品種「湯あがり娘」を収穫した。場所は J A 仙台育苗センターの敷地内にある 1 a ほどの圃場で、職員が定期的に圃場の耕運や管理を行っている。



当日は、先着で募集した 300 名の参加者が、各々収穫用の袋を受付で受け取ったあと、株ごと引き抜いた枝豆を袋に詰められるだけ詰め込んだ。

30 分ほど作業を行うと足は土に動きを取られへとへとなるが、初めて参加した親子は「たくさん収穫できてうれしい、貴重な体験ができた」と喜んでいた。

J A は今後も、このような収穫体験等を通じて J A を身近に感じてもらう活動を展開することとしている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 岩沼市】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：岩沼市中央二丁目 5-30
- 組合員数：3,752 人
(正組合員 349 人、准組合員 3,403 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 297.8 億円
 - ・貸出金残高 104.9 億円
 - ・長期共済保有高 534.5 億円
 - ・購買品供給高 1.4 億円
 - ・販売品販売高 4 千万円



II . 主な取り組み概要

地元のラジオ番組と提携し J A をぐらしの側面からアピール

J A 岩沼市は、平成 29 年 9 月よりコミュニティ FM ラジオ局「エフエムいわぬま」と提携し、地域住民の視聴者向け番組「いきいき農業」を放送している。

9 月の放送は全 5 回、早朝 5 : 40 ~ 6 : 00 の 20 分間で、担当常務理事が同番組のゲストとして説明を行った。

第 1 回は「 J A 岩沼市の概要」を説明。 J A の成り立ちや特徴を紹介した後、農業だけでなく生活用品・ガスの販売など人々の暮らしに関連した事業内容もアピールした。

第 2 回は「協同組合について」を説明。協同組合がユネスコの無形文化遺産に登録されたことに触れ、「相互扶助の精神」の下、協同組合は人々が生活を営む上で重要な組織であることを発信した。

第 3 ~ 5 回は J A の取組みとして、①害獣撃退装置「にげまるくん」の提供、②岩沼市と地元の金融機関ならびに二農協における「岩沼市高齢者等の見守りに関する協定」の締結、③ J A 企画の旅行と、地域住民が安心して農業を営み生活できる取組み等を紹介した。同常務は「今後も食と農をテーマに地域に密着した情報発信をしたい」と意欲を見せている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動

【 J A 名取岩沼】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：名取市増田一丁目 12-36
- 組合員数：6,669 人
(正組合員 4,954 人、准組合員 1,715 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 560.8 億円
 - ・貸出金残高 125.2 億円
 - ・長期共済保有高 2,147.3 億円
 - ・購買品供給高 16.9 億円
 - ・販売品販売高 27 億円



II . 主な取り組み概要

助けあい組織による豊かな地域づくり

J A 名取岩沼は、高齢化社会に対応するため、平成 20 年 4 月 1 日に生活福祉助け合い組織「ゆいっこの会」を立ち上げ、活動している。

この会は、生活と福祉に係る「助け合い活動」を通じて組合員とその家族および地域住民が力を合わせ安心して暮らせる心豊かな地域づくりを進めることが目的。概ね 65 歳以上の高齢者を対象に活動している。

活動内容は、①相談活動（健康相談活動・高齢者生活活動・介護機器の選定相談）②家事援助活動（食事の世話・掃除、整理整頓・洗濯、縫い物・通院の介助・外出の介助・身の回りの世話・話し相手・お使い、留守番・医療機関との連絡（薬とり））など。高齢者のぐらしに密着した様々な活動を行っている。現在、15 名の利用者に対し 6 名のスタッフが対応しており、スタッフらは「これからも地域の高齢者に寄り添った活動を継続していきたい」と意欲を見せている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動

【 J A みやぎ亘理】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：亘理郡亘理町逢隈田沢字遠原 36
- 組合員数：5,871 人
(正組合員 4,143 人、准組合員 1,728 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 660 億円
 - ・貸出金残高 72.9 億円
 - ・長期共済保有高 2,019.8 億円
 - ・購買品供給高 17.6 億円
 - ・販売品販売高 48.1 億円



II . 主な取り組み概要

JA 麗紅大学で J A ファンの拡大を目指す

J A みやぎ亘理は、管内の組合員及び地域住民を対象に「J A 大学」を開校している。

J A が行う文化・福祉・教育活動を通じて参加者の交流を深め、J A をより知ってもらうきっかけにしようとしているもので、年齢・性別は問わない。

愛称は「麗紅(れいこう)大学」。参加者全員が麗しく輝いてほしいという思いと、以前管内で栽培していたイチゴの品種「麗紅」にかけて命名した。



3 期目となる 29 年度は、J A 職員を講師に「野菜栽培講習会」を開催。トマトやナスなどの栽培方法のほか、肥料の説明や土づくりについても学んだ。

J A 組合長は「J A 大学を通じて、組合員をはじめ地域の方々との対話をより深め、更なる J A ファン拡大と地域貢献に繋がれば」と、この活動に期待を込めている。

今後は地産地消を進めるための「料理講習会」や「A E D 講習会」を予定しているほか、J A からのお知らせや耳より情報を発信し、積極的な参加と仲間作りを進めていく。

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A あさひな 】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：黒川郡大和町吉岡南三丁目 6-2
- 組合員数：7,564 人
(正組合員 5,673 人、准組合員 1,891 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 442.6 億円
 - ・貸出金残高 129.1 億円
 - ・長期共済保有高 2,271.9 億円
 - ・購買品供給高 29.2 億円
 - ・販売品販売高 43.6 億円



II . 主な取り組み概要

米粉 De 離乳食教室でプレママ達を応援

J A あさひなは、次世代を担うフレッシュミズ会役員を講師に、子育て支援の一環として「米粉 De 離乳食教室」を平成 28 年度から開催している。教室を通じて、ママ達が J A 事業に参加しやすい環境づくり、地場農産物の米粉を使用した米の消費拡大、更には J A ファンとなってもらうことがねらい。

参加対象は地域住民で、募集は J A のホームページ、行政の保健師や産科医院への案内チラシによる呼びかけで行い、平成 28 年度は 16 名が参加した。

教室では、10 分がゆ・ポタージュ・野菜ジュース入り蒸しパン・豆腐ハンバーグと、離乳初期から完了期までのレシピを



学び試食を行った。参加者は米粉を扱うのは初めてだったが、「扱いやすさ、アレルギーが少ないなど米粉の良さを知り、これから活用していきたい」と話した。

今年度は 12 月に開催予定。J A は今後も教室を通じてプレママ達を応援していくこととしている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動

【 J A みやぎ仙南】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：柴田郡柴田町西船迫一丁目 10-3
- 組合員数：30,174 人
(正組合員 18,629 人、准組合員 11,545 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,129.9 億円
 - ・貸出金残高 355.9 億円
 - ・長期共済保有高 6,688.3 億円
 - ・購買品供給高 45.7 億円
 - ・販売品販売高 87.1 億円



II . 主な取り組み概要

ハッピーマイライフセミナーで「もしも」の時に備える

J A みやぎ仙南は、女性部と連携し平成 27 年度より「ハッピーマイライフセミナー」を開催している。ライフプラン、家計簿、終活について学び実践することで、女性部員や地域住民の安定した暮らしと幸せづくりを目指すことがねらい。

(一社)家の光協会が講師となり、実際に「家の光家計簿」や「わたしノート(終活ノート)」を記帳して活用の有効性を伝えたほか、終活ノート記帳の大切さを分かりやすく伝えるため、J A 職員によるオリジナルのパペット劇場を披露。顔なじみの男性管理職も加わり、会場には参加者の笑い声が響きわたった。



セミナーの最後には、人生の思い出づくりとしてアルバム作成も行い、参加者は終始楽しい雰囲気学んだ。

参加者は「暗くなりがちな終活の話しも、パペット劇場のおかげで、明るく前向きに考えられた」「これからは、アルバムに写真を貼り充実させていきたい」と話した。

この活動が県内で評判を呼び、パペット劇場が他 J A でも披露されるなど広がりを見せている。

地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 古川 】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：宮城県大崎市古川北町三丁目 10-36
- 組合員数：10,941 人
(正組合員 8,883 人、准組合員 2,058 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 599 億円
 - ・貸出金残高 185 億円
 - ・長期共済保有高 2,388.3 億円
 - ・購買品供給高 25.6 億円
 - ・販売品販売高 65.1 億円



II . 主な取り組み概要

高齢者の方々へ笑顔をお届け！

J A 古川は、安心して暮らせる地域づくりと豊かなぐらしの実現を目指す「J A 古川型福祉活動」の一環として、「わいわい茶論 (さろん)」を開催している。

この取り組みは、組合員や地域高齢者の集う場づくりと健康寿命の伸長を目的とし、「わいわい茶論・笑顔お届け隊」として各地域で行われている“お茶っこ飲み会”などに職員が出向き、手芸やうたごえ喫茶などを実施しているもの。

また、年金支給月にあわせ、各支店で開催している「支店でわいわい茶論」では、お茶っこコーナー・脳トレゲーム・認知症チェックコーナー・手作りコーナーなどを実施し、参加者からは、「たくさん笑って楽しい時間を過ごす事ができた」と好評を得ている。

J A は今後も、J A をより身近に感じてもらい、多くの方に笑顔をお届けられる「J A 古川型福祉活動」を展開していくこととしている。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA加美よつば】

I. JAの概況（平成29年3月末現在）

- 本店所在地：加美郡色麻町四竈字爪木町 14-1
- 組合員数：7,894人
（正組合員 6,867人、准組合員 1,027人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 473.5億円
 - ・貸出金残高 98.4億円
 - ・長期共済保有高 2,478.3億円
 - ・購買品供給高 40.1億円
 - ・販売品販売高 78.4億円



II. 主な取り組み概要

食と農を次世代へ

JAの各組織と協力した取組み

JA加美よつばは、8月下旬に地域の子ども達と一緒におにぎりなどを作る料理教室を開いた。米消費を呼びかけ、またクイズ等により地産地消の推進と「食への関心」を高めてもらおうと女性部中新田支部と協力し企画したもので、親子6組20名が参加した。

子ども達は枝豆やニンジン・海苔でデコレーションをしたり、キャラクターの顔を作ったりしながら自分好みのおにぎりに仕上げた。また、家の光の記事を活用し「トマトみそ」作りも体験。トマトみそを用いてディップソースや入り豆腐なども作り、おにぎりと一緒に昼食を楽しんだ。

企画者の女性部長は、「地域の親子にたくさん参加していただき嬉しい。これからも旬のものを使った料理や地域の伝統食など次世代に繋いでいきたい」と話し、継続して食農教育に取り組む意欲を見せた。

JAでは、食農教育や地域農業の活性化のために次世代へ農をつなぐ活動に取り組んでおり、子ども達がいのちや自然、食べ物や農業の大切さを理解し、さらにJAの事業活動や役割を知ってもらえる子ども向けのイベントを各組織と協力しながら今後も継続していくこととしている。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAいわでやま】

I. JAの概況（平成29年3月末現在）

- 本店所在地：大崎市岩出山下野目字二ツ屋 39
- 組合員数：3,697人
（正組合員 2,717人、准組合員 980人）
- 事業取扱高（平成29年3月末現在）
 - ・貯金残高 134.5億円
 - ・貸出金残高 23.9億円
 - ・長期共済保有高 778.1億円
 - ・購買品供給高 13.7億円
 - ・販売品販売高 21.9億円



II. 主な取り組み概要

地域の高齢者へ生きがいつくりのサポート

JAいわでやまは、高齢者サポートの一環として助け合い組織「やまびこ会」を立ち上げ、計20名の会員で活動を行っている。

以前、行政からの要請を契機に「ミニディサービス」として「お茶っこ飲み会」を発足し、会員手作りの食事を提供。地元の新鮮な野菜や米、安全な食材を多く取り入れた漬物や煮物などを作り、味だけでなく彩りなども重視して提供した。

利用者からは「美味しかったよ」「ありがとう」と感謝の言葉を頂くなど毎回好評を得ている。

また、「JAグループ宮城百歳元気プロジェクト」を活用し、高齢者の方々を対象に簡単な介護予防の体操も指導している。

やまびこ会のメンバーは、「利用者の皆さんがスタッフと共に体を動かし、会話をする事で少しでもリフレッシュしたり、楽しみを見つけられればと思います」と意欲を見せ、今後も利用者から喜ばれる活動を継続していくこととしている。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JAみどりの】

I. JAの概況（平成29年3月末現在）

- 本店所在地：遠田郡美里町素山町1番地
- 組合員数：16,142人
（正組合員12,475人、准組合員3,667人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高1,037.9億円
 - ・貸出金残高238.4億円
 - ・長期共済保有高4,796.7億円
 - ・購買品供給高52.5億円
 - ・販売品販売高116.1億円



II. 主な取り組み概要

野菜の栽培講習会により 准組合員・地域住民のJA参画を促す

JAみどりのは、准組合員や地域住民が様々なかたちで農業に関わりJA活動に関心をもってほしいと、「野菜の栽培講習会」を開催している。

中でも、定年を迎え農業に意欲的なシニア層を対象に開講している「みどりの野菜塾」は今年で4年目となる。JAの営農指導員や農業改良普及員などが講師となり、土作りから播種作業などの基礎知識を年間を通じて教えている。カリキュラムにはフードコーディネーターによる料理教室や農産物直売所での体験販売なども組み込まれており、これまでに延べ70人程度が受講、JAの農産物直売所「元気くん市場」に出荷を始めた生産者も現れるなど成果を見せている。

また、地域毎に行われている「上手な野菜作り講習会」は、白菜などの自給野菜作りを気軽に学ぶことができると参加者から好評で、今年は地元の種苗会社で栽培方法や病害虫の対処法などを学んだ。

JAでは今後もこれらの活動を通じ、地元扎根したJAとして、地域社会の活性化に貢献していくこととしている。



地域活性化に向けたJAくらしの活動 【JA栗っこ】

I. JAの概況（平成29年3月末現在）

- 本店所在地：栗原市志波姫堀口見渡 2-1
- 組合員数：14,806人
（正組合員 11,834人、准組合員 2,972人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,002.1 億円
 - ・貸出金残高 183 億円
 - ・長期共済保有高 5,332.6 億円
 - ・購買品供給高 27.6 億円
 - ・販売品販売高 132.4 億円



II. 主な取り組み概要

参加者の自主性を尊重した

子育てひろば『ちびっこクラブ』

JA栗っこは、平成22年より、就学前の幼児とその親を対象に、親子が気楽に集まり和やかな雰囲気の中で相互に交流ができる『ちびっこクラブ』を開設し、子育て家庭を支援している。

「自然に親しみ四季を感じてもらおう」ことをテーマに、5月から翌年3月の期間で七夕やお月見会、クリスマスといった季節のイベントやミニ遠足、ミニクッキング、絵本の読み聞かせ等全8回実施し、親子で楽しめる内容となっている。

毎年参加者を募集しており、今年度は20人程の親子が参加。クラブでは自主性を尊重し、参加者の中から「リーダー」を決め合い、自ら考え活動することをめざす。

また、地域の栄養士や女性部員らがボランティアで参加してくれるのも魅力で、特に女性部員が作る地場産野菜を使ったスイーツ、ふるさとの味として伝わってきた郷土料理やおやつ（がんづき、ねっけまめなど）は、参加者からリクエストがでるなど好評を得ている。

JAでは、今後も地域活動の一環として、子育て中の家庭をサポートし子供たちの成長を楽しみに活動を続けていく。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A みやぎ登米】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：登米市迫町佐沼字中江 3 丁目 9-1
- 組合員数：15,981 人
(正組合員 13,503 人、准組合員 2,478 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 1,281 億円
 - ・貸出金残高 272 億円
 - ・長期共済保有高 6,243.1 億円
 - ・購買品供給高 97.5 億円
 - ・販売品販売高 187.1 億円



II . 主な取り組み概要

部署を超えた「ぐらしの活動」の活性化を促進

J A みやぎ登米は、①ぐらしの活動の趣旨を十分理解し、②地域に根ざした J A 運動を展開し、③ J A の新たな仲間 (J A ファン・准組合員) づくりにおいて他の範となるような活動を実践した部署を称える組織内表彰を実施している。

全部署から実践工程表にて報告された活動内容を常勤役員会で審査し、優良 6 活動を選出。その後最終審査会において、先の一次選考を通過した部門長が活動内容をそれぞれ発表し、優秀 2 活動を決定する。

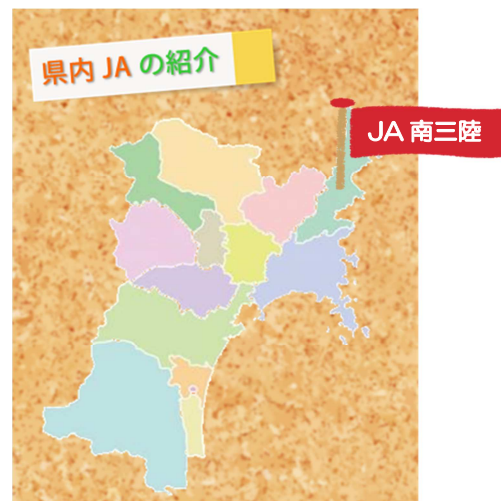
最優秀賞である「組合長賞」と優秀賞である「みやとめさん賞」があり、入賞した部門には、3月の全体朝礼にて表彰状及び報奨金を贈呈し、全職員の「ぐらしの活動」に対する啓蒙を図るとともに、次年度に向けた「ぐらしの活動」への意欲を掻き立てている。



地域活性化に向けた J A ぐらしの活動 【 J A 南三陸 】

I . J A の概況 (平成 29 年 3 月末現在)

- 本店所在地：本吉郡南三陸町志津川字廻館 97
- 組合員数：11,095 人
(正組合員 5,461 人、准組合員 5,634 人)
- 事業取扱高
 - ・貯金残高 669 億円
 - ・貸出金残高 145.9 億円
 - ・長期共済保有高 3,192 億円
 - ・購買品供給高 18.9 億円
 - ・販売品販売高 14.7 億円



II . 主な取り組み概要

記念樹の寄贈、教育体験活動資金の贈呈により 被災地を応援

J A 南三陸は、東日本大震災後に住宅を移転・再建した組合員や地域住民へ、新居での新たなスタートを記念し記念樹を寄贈した。

記念樹は「ドウダンツツジ」と「ミツバツツジ」の 2 種類。平成 29 年 3 月 7 日から、J A の渉外担当職員などが気仙沼市と南三陸町の約 1,100 戸を訪問し、苗木 2 種 1 セット約 2,200 本を寄贈した。

南三陸町戸倉に自宅を再建し、記念樹を受け取った住民の一人は「嬉しく思う。庭が完成したらリビングから見えるところへ植えたいです」と話した。

また、平成 29 年 7 月 25 日、気仙沼市内の小・中学校と幼稚園に対し、教育のための体験活動資金として 56 万円を贈呈した。



資金贈呈は平成 28 年に続き 2 回目。東日本大震災以降減少している体験活動の機会を増やし、子供たちの教育に役立ててほしいとの思いから実施しており、資金は海や川の生き物調査、野菜の栽培・収穫体験の資材費等に充てられる。

J A 担当常務より目録を手渡された市教委委員長は「助成金を環境や海洋、農業などの体験学習に使いたい」と感謝の言葉を述べた。

地域活性化に向けたJAくらしの活動

【JAいしのまき】

I. JAの概況（平成29年3月末現在）

- 本店所在地：石巻市中里五丁目1-12
- 組合員数：17,585人
（正組合員数9,990人、准組合員7,595人）
- 事業取扱高
 - ・貯金残高1,538.7億円
 - ・貸出金残高415.5億円
 - ・長期共済保有高6,249.8億円
 - ・購買品供給高71.1億円
 - ・販売品販売高119.2億円



II. 主な取り組み概要

災害公営住宅における新たな交流の輪づくり

JAいしのまき女性部矢本地区は、東日本大震災の影響で地元から離れた集団移転団地に移り住んだ人々がいる地域で料理教室等を開き、住民同士の新たな交流の輪作りを提供している。



平成28年6月より始まったこの活動は平成29年度の7月で5回目を迎えた。7月に行った赤井川前地区での活動では20名が参加し、ジャンボ海苔巻き作りを行い、部員手作りの漬物なども振舞われた。

地元産の野菜をふんだんに使った海苔巻きは参加者にとっても好評で、「同じ公営住宅に住んでいる人でも、なかなか顔を見ることができないが、今日会って話ができよかったです」と話した。

今回は矢本地区の大型公営住宅「あおい災害公営住宅」でのジャンボ海苔巻き作りが計画されており、同地区女性部長は「仲間づくりの一助となる活動を今後も続けたい」と、被災者に寄り添った活動に意欲を見せている。



